



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 センコー株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9069 URL <http://www.senko.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 泰久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報担当 (氏名) 佐々木 信郎

TEL 06-6440-5155

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	62,658	6.4	2,032	37.3	1,961	28.5	1,037	58.4
23年3月期第1四半期	58,899	13.2	1,479	8.0	1,526	7.8	654	34.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,042百万円 (58.5%) 23年3月期第1四半期 658百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	8.24	7.48
23年3月期第1四半期	5.89	5.31

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	177,006	60,997	33.6	472.55
23年3月期	177,284	60,604	33.3	469.14

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 59,453百万円 23年3月期 59,024百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		5.00		5.00	10.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	124,000	4.6	3,400	23.2	3,300	17.0	1,350	2.1	10.73
通期	255,000	5.8	7,400	21.3	7,300	14.5	3,450	52.6	27.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成23年5月16日公表の決算短信に記載した業績予想を修正しております。詳細は、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	128,989,476 株	23年3月期	128,989,476 株
24年3月期1Q	3,174,790 株	23年3月期	3,174,635 株
24年3月期1Q	125,814,771 株	23年3月期1Q	111,133,831 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、[添付資料] P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
( 2 ) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
( 3 ) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
( 1 ) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
( 2 ) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
( 3 ) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3 . 四半期連結財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期連結貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	7
( 3 ) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
( 4 ) セグメント情報等 .....	8
( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日~平成23年6月30日 以下「当第1四半期」)におけるわが国の経済は、震災後に大きく落ち込んだ生産活動が、供給面の制約が和らぎ始めたことで、持ち直しの動きが見えはじめています。先行きにつきましても、生産活動が回復していくにつれ、輸出、国内民間需要ともに、増加に転じていくものと考えられますが、一方で資源価格の高騰や為替レートの動向により、予断を許さない状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、お客さまの震災復旧・復興対応のご支援を経営の最重要課題と位置付けるとともに、昨年度にスタートさせた「Moving Global」をコーポレートスローガンとする、中期経営三ヵ年計画の2年目の年として、国内外で高品質でコストパフォーマンスの高いサービスを提供し、新たな市場開拓に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期においては、物流事業における流通ロジスティクス事業及び住宅物流事業の他、商事・貿易事業が伸長したこと等により、連結営業収益は626億58百万円と対前年同期比6.4%の増収となりました。一方、利益面においては、料金改定や燃料費の上昇といったマイナス要素がありましたが、増収効果でこれをカバーし、連結営業利益は20億32百万円と対前年同期比37.3%の増益、連結経常利益は19億61百万円と対前年同期比28.5%の増益、連結四半期純利益は10億37百万円と対前年同期比58.4%の増益となりました。

当第1四半期の業績をセグメント別にご説明いたしますと、次の通りです。

## (物流事業)

積極的な新規開拓及び震災後の物流対応等により、流通ロジスティクス事業、住宅物流事業及び食品関連物流等の業務受託が増加し、事業収入は547億48百万円と対前年同期比6.5%の増収となりました。

## (商事・貿易事業)

販売単価上昇による石油販売事業の伸長と、貿易事業、商事販売事業の売上拡大により、事業収入は73億2百万円と対前年同期比8.8%の増収となりました。

## (その他事業)

受託計算事業の売上減少により、事業収入は6億7百万円と対前年同期比22.3%の減収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (総資産)

当第1四半期末における総資産は1,770億6百万円となり、前期末に比べ2億78百万円の減少となりました。これは有形固定資産が10億57百万円減少したものの、受取手形及び営業未収入金が9億18百万円増加したこと等によるものです。

## (負債)

当第1四半期末における負債の残高は1,160億9百万円となり、前期末に比べ6億70百万円減少しました。これは未払法人税等が15億41百万円、賞与引当金が9億93百万円減少したものの、支払手形及び営業未払金が14億14百万円増加したこと等によるものです。

## (純資産)

当第1四半期末の純資産は609億97百万円となり、前期末に比べ3億92百万円の増加となりました。これは利益剰余金が4億8百万円増加したこと等によるものです。自己資本比率は前期末より0.3%上昇し、33.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想については、前回公表時点(平成23年5月16日)では、東日本大震災の影響が不透明であり、業績の先行きを見通すことが困難な状況にありました。その後、生産活動が回復していくにつれ、当社の当第1四半期連結業績は当初予想を上回り進捗致しました。

先行きにつきましては、燃料価格の高騰や為替レートの動向により、予断を許さない状況にありますが、当第1四半期の状況を踏まえて、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想の見直しを致しました。

平成24年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正  
(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	123,000	2,500	2,400	900	7.15
今回修正予想(B)	124,000	3,400	3,300	1,350	10.73
増減額(B-A)	1,000	900	900	450	-
増減率(%)	0.8	36.0	37.5	50.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	118,551	2,759	2,820	1,322	11.13

平成24年3月期通期の連結業績予想の修正  
(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	255,000	6,600	6,500	3,100	24.64
今回修正予想(B)	255,000	7,400	7,300	3,450	27.42
増減額(B-A)	0	800	800	350	-
増減率(%)	0.0	12.1	12.3	11.3	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	241,046	6,099	6,375	2,261	18.44

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,394	13,600
受取手形及び営業未収入金	31,147	32,066
商品	719	769
販売用不動産	15	10
貯蔵品	176	170
仕掛品	104	206
その他	6,304	6,319
貸倒引当金	29	33
流動資産合計	52,833	53,109
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,962	36,460
土地	39,233	39,035
その他(純額)	10,508	10,150
有形固定資産合計	86,703	85,646
無形固定資産	4,387	4,526
投資その他の資産		
差入保証金	8,719	8,752
繰延税金資産	4,969	4,886
その他	19,897	20,307
貸倒引当金	226	222
投資その他の資産合計	33,359	33,723
固定資産合計	124,450	123,896
資産合計	177,284	177,006

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	22,603	24,017
短期借入金	16,545	16,486
未払法人税等	1,719	178
賞与引当金	2,853	1,860
役員賞与引当金	112	36
災害損失引当金	836	547
その他	9,251	10,224
流動負債合計	53,923	53,353
固定負債		
社債	7,000	7,000
転換社債型新株予約権付社債	4,900	4,900
長期借入金	32,331	32,316
退職給付引当金	9,724	9,756
役員退職慰労引当金	37	27
特別修繕引当金	39	43
資産除去債務	292	294
その他	8,431	8,318
固定負債合計	62,756	62,656
負債合計	116,679	116,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,521	20,521
資本剰余金	18,782	18,782
利益剰余金	20,806	21,214
自己株式	1,046	1,046
株主資本合計	59,063	59,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	19
繰延ヘッジ損益	9	6
為替換算調整勘定	31	30
その他の包括利益累計額合計	38	17
新株予約権	107	107
少数株主持分	1,472	1,435
純資産合計	60,604	60,997
負債純資産合計	177,284	177,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	58,899	62,658
営業原価	53,886	57,081
営業総利益	5,013	5,577
販売費及び一般管理費	3,533	3,544
営業利益	1,479	2,032
営業外収益		
受取利息	48	44
受取配当金	235	220
その他	167	105
営業外収益合計	451	369
営業外費用		
支払利息	293	286
その他	112	153
営業外費用合計	405	440
経常利益	1,526	1,961
特別損失		
固定資産除却損	143	46
リース解約損	22	20
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	130	-
特別損失合計	295	66
税金等調整前四半期純利益	1,230	1,895
法人税、住民税及び事業税	123	137
法人税等調整額	440	742
法人税等合計	563	880
少数株主損益調整前四半期純利益	666	1,015
少数株主利益又は少数株主損失( )	11	22
四半期純利益	654	1,037



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	666	1,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55	23
繰延ヘッジ損益	3	4
為替換算調整勘定	41	0
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	8	27
四半期包括利益	658	1,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	627	1,058
少数株主に係る四半期包括利益	30	15

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	51,406	6,711	782	58,899	-	58,899
セグメント間の内部営業収益又は振替高	162	2,133	830	3,127	3,127	-
計	51,568	8,844	1,613	62,027	3,127	58,899
セグメント利益	1,273	99	111	1,484	4	1,479

(注)1. セグメント利益の調整額 4百万円には、セグメント間取引消去 3,127百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 3,122百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流事業	商事・貿易 事業	その他事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	54,748	7,302	607	62,658	-	62,658
セグメント間の内部営業収益又は振替高	163	2,358	803	3,324	3,324	-
計	54,911	9,660	1,410	65,983	3,324	62,658
セグメント利益	1,829	103	113	2,045	13	2,032

(注)1. セグメント利益の調整額 13百万円には、セグメント間取引消去 3,324百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 3,310百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。